

日本海
未来ウォーク

「風を感じて集こう」

自分の役割確認

倉吉でボランティア説明会



説明会に参加したボランティアたち＝24日、倉吉市宮川町のシビックセンターたからや

六月に県中部地区で行われる「第九回日本海未来ウォーク」(実行委員会、新日本海新聞

社主催)に向けて二十四日、倉吉市宮川町のシビックセンターたからやで、ボランティア

スタッフに対する説明会があり、運営に携わる市民や高校生たちが各自の役割を確認した。

大会を支えるボランティアスタッフは、実行委が募集しており、説明会には約七十人が出席した。

実行委の遠藤公章委員長が大会の意義を説明しながら、「大会運営には重要な皆さんです。いろんな体験をして、楽しんでボランテ

ィアをしてください」と激励した。初参加の高校生は「楽しみです」などと話し、委員からボランティアの心得として「笑顔でいることが大事です」との説明を受け、案内や救護などそれぞれの作業内容を確認した。

大会は六月六、七日に同市駄経寺町の倉吉未来中心を主会場に開かれ、全国各地や韓国からもウォーカーたちが集う。